

第5回遠野市史編さん委員会 会議録

日 時	平成 29 年 5 月 31 日（水）13：30～15：30		
場 所	遠野市立図書館 視聴覚ホール		
出席委員数	10 人中 9 人出席		
出席委員	大橋 進 兼平 賢治 熊谷 常正 今野日出晴 斉藤 利男 菅原 伴耕 藤田 俊雄 松本 武則 山影 勝美		
欠席委員	赤坂 憲雄		
市長	本田 敏秋		
事務局	小向 孝子	遠野文化研究センター部長兼市史編さん室長	
	前川さおり	市史編さん室次長	
	糠森 千明	〃	主任
	熊谷 航	〃	主任
	菅原 聡	〃	主任

開会に先立って、委員に辞令を交付。

(進行：前川次長)

1 開会

2 市長挨拶

3 委員長、副委員長の選任

委員長に大橋進委員が選任された。

副委員長は委員長の指名により、赤坂憲雄委員が選任された。

4 報告

(1) 平成 28 年度事業報告

報告内容について質疑なし。

(2) 平成 29 年度経過報告

報告内容について質疑なし。

5 協議

(1) 平成 29 年度事業計画案について

(糠森主任 資料にもとづき説明)

- ・ 「遠野市史叢書」と「資料編」との関わりはどうか。

⇒ 前回の委員会で資料編として提案したところ、よりタイムリーな情報をその都度出せるような形でということで、叢書として出してはどうかというご提案をいただいた。

それを受け、「遠野市史叢書」としてその都度発刊していきたい。

- 中世史に関して、東禅寺の遺跡は貴重であるので予算措置をし、図面作成をお願いしたい。
鱒沢館跡は工事のため木が伐採されている状態。今のうちに上空から撮影し図面作成をお願いしたい。
⇒ 鱒沢館については現地を確認し検討する。
- 個人所蔵古文書リストの作成について、寺や神社もリストに入れていただきたい。
また、神社の場合は別当家が残っていれば、そちらもリストに入れたほうが良い。
- 東禅寺は貴重な遺跡だということで、寺院遺構として国指定に繋がるような調査計画を立て進めるのも作戦の一つ。
- 寺院調査において仏像だけでなく古文書の有無、鰐口、金石資料などの調査もお願いしたい。

(2) 現代編編目案について

(糠森主任 資料にもとづき説明)

- 現代編の総論にあたる部分はどなたが書くのか。地域社会そのものの変貌をどう捉えるかはこの編さん委員会の見識を示すことになると思う。
⇒ 現代編部会の中で今後検討する。
- これまでの作業や議論から作成した資料を見ると、無い項目がいくつかあるようだ。現代編部会では抜けているのは何か、こういった視線も必要なのではないかとすることも検討していただきたい。
- 行政の歴史だけではなく市民の方々の視点を取り込んでいき、一般の方々が親しみやすい市史にしていただきたい。

(3) 通史編基本構想案について

(糠森主任 資料にもとづき説明)

- 2巻をどこで分けるのかが問題。原始、古代、中世で1巻を埋めるのが大変で、逆に近世、近現代で1巻に収めるのが大変。

⇒ 前の遠野市史の場合、近世を途中で区切り3巻、4巻としている。今後新たな資料が出る可能性もあり当初計画が変更になることもあると思うが、2巻を基本にしなからこの事業を進めたい。

- ・ 近世と中世の境は遠野南部氏の入部、原始・古代と中世の境は安倍・清原からを中世近世と近現代の境は廃藩置県で良いのではと思うが、今後部会で検討する。

(4) その他

- ・ 遠野市史叢書とは別に市史編さん講座の内容などを小冊子にしてそれを市民の皆さんに配布してはどうか。
- ・ 市広報を活用し、講座概要や調査成果を紹介していただきたい。小冊子にするのも時間とお金がかかると思うので。

6 閉会